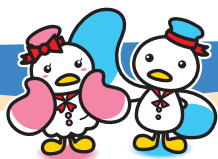


# 伝言板

No.37(R 4.4)



NPO 法人 北海道みなとの文化振興機構

## もくじ

新理事長挨拶……………	1	「みなとまち活性化イベントの助成事業」の募集 ……	7
第 19 回 理事会・通常総会……………	2	令和 4 年度 役員・事務局・支部体制……………	8
みなとパネル展……………	5	事務局連絡方法……………	8
北海道開発局防災エキスパート(港湾・空港・漁港)……………	6		

## 新理事長挨拶

この度、中村信之氏の後任として理事長に就任しました。まずは、長年にわたり理事長として活動の先頭に立ってご指導いただいた中村様に心より感謝申し上げます。

当 NPO は、平成 15 年 4 月 7 日に北海道知事の認証を受けて発足しました。以来、みなとのパネル展やみなと座談会の開催、着ぐるみの貸付や記念グッズの配布、防災エキスパートへの支援、みなとの振興にかかる事業への助成、そして最近では、みなとの文化研究など多角的な事業を展開しております。

発足の少し前ですが、私は国土交通省港湾局開発課（現産業港湾課）で「みなとまちづくり」施策を担当しており、行政主導ではない、市民目線の「みなと」の振興をもっと推進しようという議論をしておりました。そのような環境のなかで、北海道において全国に先駆けて当 NPO が発足したことは大いに歓迎されたと記憶しています。

「伝言板 No.1」によれば、最初の活動は、「ザ・シンポジウムみなと in 苫小牧」の協賛事業としての「みなとパネル展」の開催でした。会場の苫小牧市サンプラザには 9 日間で 3,360 人の入場者がありました。家族連れを中心とした多くの市民に好評で、「港と暮らし」を考える機会になったことは、当

NPO の活動の原点となっているのではないかと考えます。

一方で、当 NPO の会員の状況を発足時（H15）と現在で比較してみると、正会員（個人）が 185 人（H15）→171 人（現在）、正会員（団体）が 66 団体→58 団体、賛助会員が 11 団体→11 団体となっており構成に大きな変化はみられませんが、他の市民団体もそうであるように、会員の高齢化は否めません。

NPO 法人は平成 10 年に制度化されて以降、その数を増やし現在は全国に 5 万余の団体が存在しています。最近では、同じ非営利法人格でも設立の手続きが比較的簡単な一般法人を選択する団体も多い一方で、資金や人材の不足、活動者の高齢化などが原因で解散する事例もあるようです。そのような時流の中であって、当 NPO が、毎年道内の「みなと」を舞台に様々な活動を展開し、地域の方々から評価されていることは素晴らしいことだと感じます。

発足からおよそ 20 年近くになりますが、「みなと」



を取り巻く環境は大きく変わってきました。しかし、港が暮らしを支えていること、人々が持つ海や港への憧れ、地域のお祭りなど文化交流の場としての港の存在価値などは、今後とも変わらないものだと思います。

今後も、市民と港を繋げる大事なツールとして、当NPOの様々な活動をしっかりと継続していくとともに、新たなニーズにも柔軟に対応していきたい

と考えています。また、諸活動を担う会員が、「楽しい」、「生きがいを感じる」と思うような組織運営も模索していきたいと考えています。これからも会員はもとより、地域の方々のご協力をいただきながら、北海道の「みなとまちづくり」を進化させていきたいと存じますので、皆様のご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

眞田 仁

## 第19回 理事会・通常総会

第19回理事会・通常総会は、令和4年2月16日(水)ホテルライフオーポート札幌で、コロナ禍ではありませんでしたが感染対策に配慮のうえ開催しました。

理事会は定数14名の内、出席者10名(書面表決者3名)、通常総会の出席者は個人会員171名、団体会員58団体内、委任状提出者を含めて197名が出席しており会場には52名に出席していただきました。

通常総会に先立ち、NPO法人栗林定正会長から「日頃から、わたくしどもの事業活動・事業運営に深いご理解とご協力を賜っていることに厚くお礼申し上げます。

本日はご来賓といたしまして、北海道開発局港湾空港部港湾計画課西園課長様に、ご多忙のところご臨席をいただいております。

西園港湾計画課長様には常日頃から心のこもったご指導、ご支援を賜っております事に深く感謝申し上げます。

さて、会員の皆様には令和3年度事業の実施にあたりまして、各種の事業活動にご協力をいただい

ております。

当法人は、港をつくる側と港を利用する人たちの思いを念頭に置き、みなとの役割について自由に意見を交わすことのできる環境づくりを進めていくという考えのもとで発足しております。そして地域の人たちと学び知恵を出し合い、豊かな社会づくり実現への道筋を探っていくこととしております。

現在取り組んでいる主な事業としては、港への理解と利用促進に係る広報活動として、みなと見学会、みなとパネル展、みなとサポーターなどを実施しております。また、みなと街づくりの支援事業としてみなと座談会を開催し、さらに港湾、空港、漁港の



理事会



会長挨拶

防災業務及び災害復旧に係る活動支援事業として、「防災エキスパート」の研修会や施設点検の実施訓練などを鋭意行ってきております。

近年は、新型コロナウイルスの影響から多くの活動に支障が出ておりますが、当NPO法人は全道各地の港町でみなとを核とした街づくりに取り組んでいることから、活動内容などが多方面から注目され、また期待されている面もあると思います。

これからも更に、真摯な気持ちで事業活動に取り組んでまいり所存でございます。

皆様方からのあたたかいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

本通常総会では、令和3年度の事業報告と令和4年度の事業計画などについて、事務局から報告を受け皆様にご審議いただくことになっております。

どうぞよろしくお願いいたします。

むすびにあたり、ご出席の皆様方からのご指導、ご鞭撻をお願いするとともに新型コロナウイルスの終息もまだまだ見えない状況ではありますが、会員各位のご健勝とご活躍を祈念します。」と挨拶がありました。

ご来賓として出席していただきました、北海道開発局港湾空港部港湾計画課長西園勝秀様からは「北海道みなとの文化振興機構第19回通常総会の開催、誠にありがとうございます。

本年度はコロナ禍で活動にいろいろな制約があったかと思いますが、その中でも広報誌伝言板の発刊など広く活動のご紹介をされていると伺っております。

また、昨年11月に釧路で開催された、みなとパネル展を開催いただき誠にありがとうございました。

私も拝見させていただきましたが釧路港バルク戦略港湾や、釧路港の歴史がよくわかる素晴らしいパ

ネル展だと感じました。

来年度もザ・シンポジウムみなとではぜひこの素晴らしいパネル展を開催していただければと存じます。

また、今年度はコロナ禍で開催できなかったと伺っておりますが、北海道みなと街づくり女性ネットワークと共催での座談会もぜひ盛大に開催されることをご期待申し上げます。

むすびに、北海道みなとの文化振興機構のますますのご発展と、会員各位のご健勝を祈念いたします。」とご挨拶をいただきました。

通常総会は、中村理事長を議長に選出して第1号議案から第4号議案まで審議され、下記のとおり承認されました。

### 第1号議案（令和3年度事業報告）

1 定款の事業名 港への理解と利用促進に係わる広報活動及び支援並びに港への理解に係わる情報収集及び調査研究

(1)みなとサポート業務

「みなと見学会」等は、新型コロナウイルス感染拡大防止のためすべて中止となりました。

(2)みなとパネル展

令和3年11月25日(木)「ザ・シンポジウムみなと in 釧路」の開催に協賛して釧路国際交流センターで開催され、新型コロナウイルス感染防止から、会場参加を申し込み抽選方式としWebによるライブ配信もされました。

(3)広報誌「伝言板」の発刊

35号を令和3年4月、36号を令和3年11月に発刊しました。

(4)着ぐるみ（「ぽーとん」くん・「べいくりん」ちゃん）貸付事業（有償）



来賓挨拶



総会



新型コロナウイルス感染拡大防止から、予定したイベントが中止となり利用はありませんでした。

#### (5)記念グッズの配布（無償）

助成事業等から要望のあった箇所へノート、ボールペン&マーカー、着ぐるみシールを配布しましたが、新型コロナウイルスの影響から着ぐるみ利用イベント及びサポート支援要望事業が中止となり、記念グッズの配布量も例年に比べて少ない状況でした。

#### (6)港への理解に係わる情報収集及び調査研究

（一社）寒地港湾空港技術研究センター様の自主研究協力として、道内港湾について港とまちの発展の歴史を整理し、戦前から整備されてきた道内の重要港湾を対象として、歴史年表の作成を行っています。

### 2 定款の事業名 港湾・空港・漁港の防災業務及び災害復旧に係る活動・支援

#### (1)防災エキスパート支援

①令和3年10月26日(火)北海道開発局防災エキスパート(港湾・空港・漁港)認証式(4名)

なお、例年開催してきた防災エキスパートの研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。

②総合防災訓練についても稚内市で予定されておりましたが、コロナ禍の状況を鑑み中止となりました。

### 3 定款の事業名 まちづくりの推進を図る活動等に関する情報収集

#### (1)みなと座談会

新型コロナウイルス感染が拡大している状況から中止としました。

#### (2)ネットワーク強化

事務局と当NPO法人各支部(札幌・函館・苫小牧・釧路)とで情報を共有し、事業実施を円滑に進めることを目的に支部長等会議を開催していますが、新型コロナウイルス感染が拡大している状況から中止としました。

#### (3)情報収集

「みなとオアシス全国協議会事務局」や「北海道市民活動団体情報提供システム」から必要な情報を得ています。

### 4 定款の事業名 その他、目的を達成するために必要な事業

#### (1)助成活動

令和3年度は新型コロナウイルスの影響もあって例年に比べて応募数が少なく、一般の部に5件の申請がありました。

5件すべてを助成事業の対象としました。

### 第2号議案(令和3年度収支決算報告並びに監査報告)

### 第3号議案(令和4年度事業計画)

### 1 定款の事業名 港への理解と利用促進に係わる広報活動及び支援並びに港への理解に係わる情報収集及び調査研究

#### (1)みなとサポート業務

#### (2)みなとパネル展

(3)広報誌「伝言板」の発刊、ホームページの充実  
(4)着ぐるみ(「ぼーとん」くん・「べいくりん」ちゃん)貸付事業(有償)

#### (5)記念グッズの配布(無償)

#### (6)港への理解に係わる情報収集及び調査研究

### 2 定款の事業名 港湾・空港・漁港の防災業務及



感謝状贈呈

び災害復旧に係る活動・支援

(1)防災エキスパート支援

3 定款の事業名 まちづくりの推進を図る活動等  
に関する情報収集

(1)みなと座談会

(2)ネットワーク強化

(3)情報収集

4 定款の事業名 その他、目的を達成するために  
必要な事業

(1)助成活動

第4号議案（令和4年度収支予算計画書）

このあと、中村理事長より理事長の交代について  
通常総会前の理事会において審議され、新理事長に  
真田 仁理事が選出されたことが報告され第19回  
通常総会が終了しました。

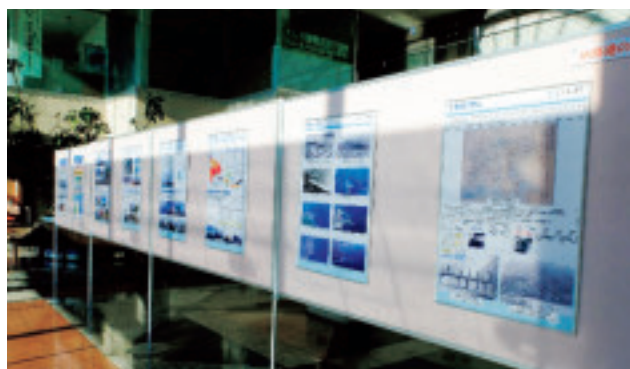
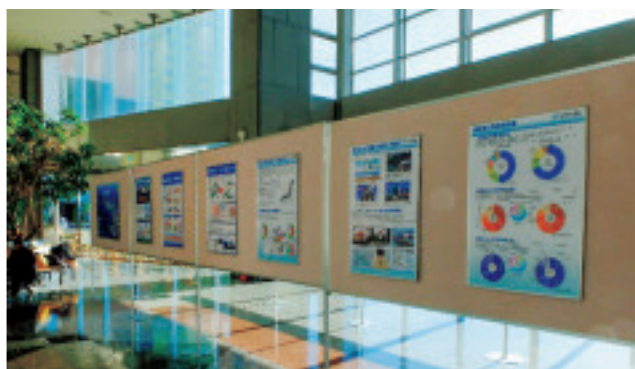
通常総会終了後、伝言板「No.36」にも掲載して  
おりましたが、株式会社中田組代表取締役社長中田信  
也様から北海道のみなどの文化振興を目的に、寄附  
金を当法人へ頂きましたので感謝状を贈呈するこ  
ととし、中田伸也様が所用でご欠席だったため中田組  
代表取締役副社長中田有介様に当法人栗林会長より  
贈呈いたしました。

## みなとパネル展

NPO 法人北海道みなとの文化振興機構は、一般市民に「みなとの役割、暮らしとの関わり合い」を  
広く理解していただくため、毎年「ザ・シンポジウムみなと（ザ・シンポジウムみなと実行委員会）」  
の開催に協賛して、実行委員会の支援を得て「みなとパネル展」を企画、開催しています。

令和3年度の「ザ・シンポジウムみなと in 釧路」  
は、令和3年11月25日（木）に釧路市釧路観光国際  
交流センターで開催されました。新型コロナウイルス

感染症の急拡大を受け、参加者及び関係者の安全  
安心のため、申し込み抽選による会場参加者約200  
名と Web 配信参加者約190名により「釧路港と東





北海道の将来像～国際バルク戦略港湾とこれからの戦略的な産業振興～」をテーマに同時開催されました。

パネル展は、会場内アトリウムでの展示と休憩時間のビデオ上映で行われ、会場参加者や Web 参加の皆様に見ていただきました。

パネル展の内容は、当機構から「NPO 活動状況の

紹介と設立までの経緯」「北海道の港湾の整備状況」などのパネル 14 枚、北海道開発局釧路開発建設部釧路港湾事務所から「釧路港の歴史」「釧路港の事業概要」「みなとオアシス」などのパネル 15 枚、が展示されました。

今回のパネル展開催にあたり、北海道開発局の皆様のご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。

## 北海道開発局防災エキスパート (港湾・空港・漁港)

### ○新規登録者認証式

令和 3 年 10 月 26 日(火)北海道開発局港湾空港部長室において防災エキスパート新規登録者認定式が行われました。

今年度は 4 名の方が港湾空港部幹部立会の中、魚住 聡港湾空港部長より登録通知証の交付を受けました。

これにより今年度の防災エキスパート登録者は 31 名となり、今後本体制で活動していくことになり

ます。

なお、例年認証式後に開催しております防災エキスパートの研修会につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため今年度も開催を見送ることになりました。

防災エキスパートの皆様には今後開催される訓練や研修会にご参加をいただき、災害が発生した際には皆様の豊富な知見、経験を生かし復旧活動にご協力をお願いいたします。



防災エキスパート新規登録

# 「みなとまち活性化イベントの助成事業」の募集

NPO 法人「北海道みなとの文化振興機構」では、当機構の目的の一つである「港の効果的、効率的利用の促進や港を核としたまちづくりに係る広報事業を支援する」を図るため助成事業の募集を行います。令和4年度の助成事業応募要領は下記のとおりです。

## 助成事業募集要領

### (1)応募要件

道内でみなとまちの活性化をめざし企画・実施されるイベント等において、令和4年度に実施予定の本助成を希望する事業とする。

- ①みなとへの理解と利用促進に係る広報・体験学習活動
- ②海岸・みなとの清掃、植樹等の美化活動
- ③海洋及びみなとに係る教育、文化活動

### (2)募集期間および応募方法

募集期間は令和4年4月1日(金)から5月6日(金)までとし、助成を希望する団体は必要事項を記入の上、応募様式を提出する。

### (3)助成金額

1件当たり助成金額は15万円を限度とし、みなとの活性化の効果の大きいと考えられる数件を選定する。

### (4)評価審査委員会の設置

応募された助成希望の事業について、審査を行う機関として設置する。

評価審査委員会は当NPO法人理事長の指名によ

り構成する。

評価審査委員会の事務は当NPO法人事務局が行う。

評価審査委員会は本年5月中旬に開催し、助成を希望する事業について審査し、採択する。

審査結果については、5月下旬に郵送で通知する。また、当NPO法人のホームページ上で公表する。

### (5)助成金の支払い

助成金については、助成を受ける団体等に対し、イベント等の開催の2週間前までに支払う。

### (6)助成を受ける団体の義務

活動を実施するにあたって、「NPO法人北海道みなとの文化振興機構助成」をうけている旨を明示すること。

### (7)報告

実施結果については、実施後速やかに報告様式により提出すること。実施写真を2枚以上添付すること。

(8)応募様式及び報告様式は、当NPO法人ホームページを参照願います。





## 令和4年度 役員・事務局・支部体制

令和4年度「特定非営利法人北海道みなとの文化振興機構」役員・事務局・支部体制について

(敬称略)

### 役員

役職	氏名
会長	栗林定正
理事長	眞田仁
理事	岩倉博文
理事	藤田幸洋
理事	高橋喜一
理事	上原泰正
理事	百瀬治
理事	中村信之
理事	栗田悟
理事	川合紀章
理事	笹島隆彦
理事	大西育子
理事	片石温美
理事	福岡康宣
監事	吉本靖俊
監事	中内勲

### 事務局

役職	氏名
事務局長	秋葉洋一
事務局次長	福岡康宣
事務局次長	三原一憲
事務局次長	斉藤賢悦
事務局次長	大前豊
事務局次長	高木哲夫
事務局次長	宮部秀一
事務局次長	渥美洋一
事務局次長	鈴木一行
事務局次長	秋浜政弘
事務局次長	石川洋一
事務局次長	上川功一
事務局次長	飯田誠

### 支部

役職	氏名
札幌支部長	千葉不二夫
札幌支部次長	澤合英治
函館支部長	川村求
函館支部次長	鈴木勝晴
苫小牧支部長	秋葉洋一
釧路支部長	本間久雄
釧路支部次長	佐藤浩彰

### 事務局連絡方法

当機構事務局への連絡は、下記のいずれかをお願いします。

Tel : 011-727-3710 Fax : 011-727-3710 E-mail : bunka-npo@kanchi.or.jp

なお、事務局は、常駐体制でないことから、ご返事を差し上げるまで一週間程お時間をいただくこともございますので、何卒ご了承をお願いします。

また、当機構の活動状況は、ホームページでご覧になることができます。

<http://www.minatobunka-npo.info/>

## 特定非営利活動法人 北海道みなとの文化振興機構

〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2番17号  
セントラル札幌北ビル5F